

歴史的建築物の活用促進に向けた建築基準に関する連絡会議  
 第5回連絡会議用アンケート調査  
 包括同意基準に関するアンケート調査

行政庁名	
------	--

次回(第5回)の連絡会議での議論の際の参考とさせていただくため、法第3条第1項第3号その他条例に係る包括同意基準の策定・検討状況について、調査を実施させていただくこととなりました。度々の調査となり、大変お手数おかけしますが、以下の設問へのご回答をご協力お願いいたします。また、各設問に係る関連資料がございましたら、ご提供をお願いいたします。

お問合せ先:	株式会社アルテップ (担当:福本、小崎、仁藤) 〒107-0052 東京都港区赤坂8-10-39 赤坂KSAビル2F Tel : 03-3478-1080 Fax : 03-3478-1081		
回答提出先:	国土交通省 住宅局 建築指導課 株式会社アルテップ	企画係長 濱田	<a href="mailto:hamada-k2hx@mlit.go.jp">hamada-k2hx@mlit.go.jp</a> <a href="mailto:public@artep.co.jp">public@artep.co.jp</a>
回答期限:	<b>平成29年8月31日(木)</b>		

問1 包括同意基準の策定に係る検討状況

※条例制定の有無に関わらず、全員ご回答ください。

法第3条第1項第3号その他条例の包括同意基準の策定を検討したことがありますか。検討状況について該当するものを選択し「○」を付けてください。④・⑦の「その他」を選択した場合は、右欄に具体的な内容をご記入ください。

1	包括同意基準の策定について、検討したことがある	①	包括同意基準を策定済み	
		②	包括同意基準の策定を検討中	
		③	策定を断念した	
		④	その他	
2	包括同意基準の策定についての検討は(未だ)行っていない	⑤	今後、検討予定	
		⑥	今後も検討の予定はない	
		⑦	その他	

問2 包括同意基準策定にあたっての課題

※条例制定の有無に関わらず、全員ご回答ください。

包括同意基準の策定にあたっての課題等について、具体的にご記入ください。

包括同意基準の策定にあたっての課題等	
--------------------	--

### 問3 包括同意基準の策定について検討したことがある場合

※問1で「1. 包括同意基準の策定について、検討したことがある」(①～④)を選択した場合、ご回答ください。

#### (1) 検討の背景・理由、体制等

検討の背景・理由や検討結果等について、下欄にご記入ください。

検討した背景・理由	
検討結果等 ①の場合: 策定基準の概要 ②の場合: 現在の検討状況 ③の場合: 断念した理由 ④の場合: 状況等	

#### (2) 包括同意基準の対象建築物

包括同意基準のターゲットとした(想定した)建築物の概要をご記載ください。ご回答は、下記内容について、具体的にお教えください。また、複数ある場合は、それぞれご記入ください。

- ・どのような建物か、建築時期、規模、構造方法、従前の用途 等
- ・建物の立地状況について
  - …用途地域、都市計画区域の内外、その他周辺状況(中心市街地、農村集落、木造旅館街、住宅地、上記建物と類似性の高い建物が地域に多く存在するか否か) 等
- ・その他(〇〇という特徴を持つ町家 等)

no.	建築時期	延べ面積	階数	構造方法	従前の用途	従後の用途	従後の不特定多数の使用の有無	用途地域	都市計画区域内外	その他周辺状況等	その他
例	江戸後期	100㎡程度	平屋	木造	住宅	飲食店	有	第二種低層住居専用地域	区域内	—	町家を想定
1											
2											

※記入欄が足りない場合は、行を追加してご記入ください。

### 問4 今後検討予定の場合

※問1で「⑤今後検討予定」を選択した場合、ご回答ください。

今後の検討の予定について、ご記入ください。

今後の検討予定	例) 条例制定後、検討する予定。 例) その他条例の適用事例がある程度蓄積されてから、検討する予定。 など

### 問5 今後も検討予定がない場合

※問1で「⑥今後も検討の予定はない」を選択した場合、ご回答ください。

今後も検討の予定はない理由について、ご記入ください。

今後も検討の予定はない理由	例) 個別性が高いため、また、適用件数もあまり多くはないと想定しているため、策定の必要性は低いと考えている。 など

— 設問は以上です。ご協力ありがとうございました。 —